

8月下旬、北軽井沢の白樺の切り枝に飛来したコガラ（小雀）です。スズメ目シジュウカラ科コガラ属の小鳥で、全長は12～13センチほど。スズメより一回り小さく、黒い帽子をかぶったような頭頂部と小さな黒い喉斑、白い頬がよく目立ちます。背中では淡い灰褐色、腹部は灰白色で、全体に落ち着いた色合いです。写真では羽毛を少し膨らませているため、ふっくらと丸い姿に見えます。

コガラは北海道から本州、四国、九州の一部に分布し、本州では主に山地の落葉広葉樹林や針広混交林に暮らします。標高約千メートルの北軽井沢は、シラカバやミズナラなどが生育するコガラに適した環境です。枝から枝へ素早く移動し、昆虫やクモ、木の実や種子などを探します。秋から冬には食物を樹皮の隙間などに隠す「貯食」も行い、シジュウカラやヒガラなどと混群をつくって行動することもあります。

体は小さいのですが、林の中では意外なほどよく通る声を響かせます。姿を見つけるより先に、その声で近くにいることに気づくこともしばしばです。繁殖期には朽ちた木に自ら巣穴を掘ることもある、小さな体に似合わずたくましい鳥です。白樺の切り枝の先にちょこんと止まった姿には、山地の森で暮らすコガラの愛らしさとともに、厳しい環境を生き抜く野鳥らしい力強さも感じられます。

(2026年8月下旬／北軽井沢)

